

B+com 6X ヘルメット取付資料



SHOEI® J-FORCE IV

(クイックマニュアルと併せてご覧ください)

①準備



用意するもの

No	名称	数量
①	B+COM SB6X 本体ユニット	1
②	スピーカー	1
③	ワイヤーマイク or アームマイク	1
④	ワイヤー or アームマイク用スポンジ	1
⑤	ベースプレート	1
⑤	ワイヤークリップ (クリップで使用する場合)	1
⑤	保護ラバー (クリップで使用する場合)	1
⑤	面ファスナー (貼付で使用する場合)	1
⑥	スピーカーハーネス固定用クリップ	1
⑦	スピーカー固定用面ファスナー	2
⑧	スピーカー固定用調整パッド	4



スピーカー裏面へベルクロフック（硬い方）を取り付ける。



ベースを取り付けます
ワイヤークリップ型ベースを使用した場合



貼り付け型ベースを使用した場合

②. スピーカー取付

3/9

<重 要>



ヘルメットのチークパッドを取り外します
※左側のみ



ヘルメット内装の耳部分のスポンジを外します
左右の耳部分の窪みにスピーカー用ベルクロを貼り付け、右側スピーカーを取り付けます。
※窪みに合わせてスピーカーを取り付けた場合、実際の耳穴の位置からずれてしまう可能性があります。必ず微調整を行って下さい。



スピーカー位置の微調整をします。
耳とスピーカーの間に隙間が出来る場合、必ずスピーカー調整スポンジで調整して下さい。
※チンストラップ側のV字ラインに寄せるのがコツです。



ヘルメット後方右側のスナップを外し、配線をスナップの内側に通します



内装後ろ側に配線を通します



左側も同様に配線を通します
通し終わったらスナップを元に戻して下さい

③マイク取付

4/9



左側のパッドにマイクを仕込みます
マイクは赤丸の部分に来るように設置します



チークパッド下側の隙間にマイクを通します
※内装の外側へ配線を取り回すことも可能です。(収納が難しくなりますが、配線の負担が軽減されます。)



マイクの配線を隙間から通します



通し終わったら写真の状態になります

※マイクの裏表に注意して下さい

裏表を逆になるとマイクが音声を拾いにくくなります
(穴の空いている面が表です)

④本体取付

5/9



スピーカーの配線を仮止めしておきます。
スピーカーハーネス用固定クリップを使用するとより綺麗に配線を取り回すことができます。



左側スピーカーをとりつけた後、左側チークパッドを取り付けます
余った配線はチークパッド内側に収めます



本体を取りつけます



下側から見た図



アームマイクを使用した場合は図のようになります



下から見た図

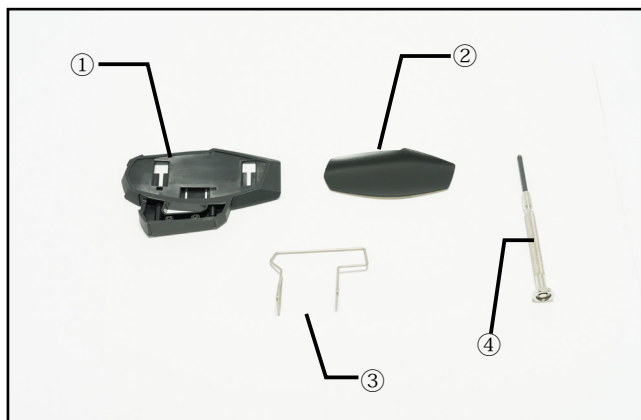


以上で完成です



配線は内装の内側にある為、配線は見えません

ベースプレートの組立①



用意するもの

名称	数量
①ベースプレート本体	1
②保護ラバー	1
③ワイヤークリップ	1
④プラスの精密ドライバー (#1)	1



保護ラバーを貼り付ける前に、貼付箇所を脱脂します。



保護ラバーを貼付部の角に合わせながら貼り付けます。



全体に浮き等がないようにしっかりと貼り付けます。

ベースプレートの組立②



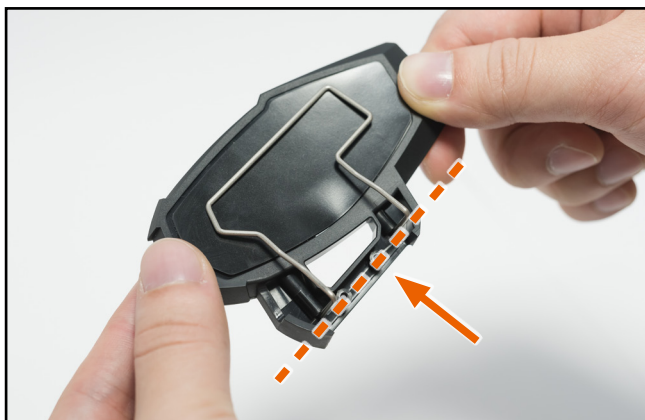
ドライバーを使用してワイヤークリップホルダーとプレート
を固定しているネジを2箇所外します。



ワイヤークリップホルダーを取り外します。



2箇所の穴へ、矢印方向にワイヤークリップを差し込みま
す。



ワイヤークリップは上図のように壁に当たるまでしっかり
と押し込みます。



ワイヤークリップホルダーをガイドに沿って取り付けま
す。



ドライバーを使用してプレートとワイヤークリップホル
ダーを固定します。

ベースプレートの組立③



ネジを締め終わったら必ずプレートとワイヤークリップホルダーの間に隙間がないことを確認して下さい。

<注 意>



プレートとワイヤークリップホルダーの間に隙間がある状態でヘルメットに取り付けご使用されますと、ベースプレートが破損し、最悪の場合、本体が脱落する危険が御座います。



完成。

ベースプレートの取付手順



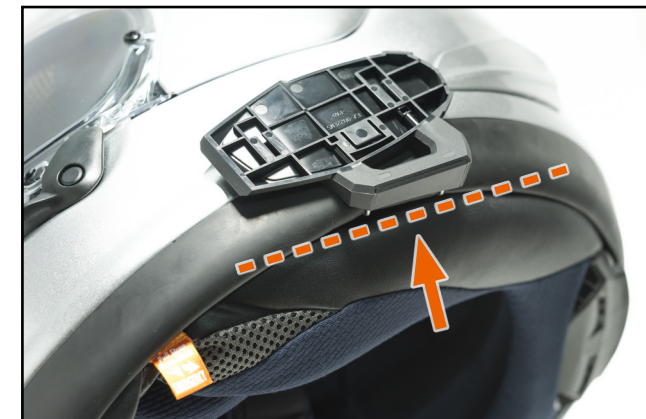
ベースプレート先端をヘルメットの縁に押し付けながら矢印方向へ押し込みます。

《ご注意下さい》

ワイヤークリップ部分を大きく広げてのお取付けは必要以上の負荷が掛かり、ベースプレートの破損原因となります。



矢印の方向に回しながら押し込みます。



縁にしっかりと当たるまで押し込み完了です。